

国語科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	題材名	主な学習内容・目標
一学期	4	<ul style="list-style-type: none"> ・朝のリレー ・野原は歌う ・声を届ける[音読・発表] 	<ul style="list-style-type: none"> ・繰り返し音読し、言葉のひびきを味わう。表現に注意して、詩の内容を読み取る。意見の発表や作品の音読の仕方を身に付ける。 ・ノートの活用法を学ぶ。 ・本との出会いを通して、豊かな読書生活を築く。 ・分からない事柄は、情報を集めて整理する。目的や内容に応じて、調べ方を工夫する。 ・気持ちを表す表現や場面の展開に注目し、作品の理解を深める。少年の気持ちの変化をとらえる。 ・小学校や中学校で習う漢字について整理する。 ・説明文を読み、言葉の意味や内容をとらえる。段落の役割に着目して文章を読む。 ・段落と段落の関係に注意し、文章の構成を読み取る。興味・関心を持ったところを確認し合う。 ・小学校や中学校で習う漢字について整理する。 ・好きなことをスピーチで紹介する。 ・情報を集め、読み取り、引用する方法を考える。 ・もっと伝わる表現を目ざしてたくさんの言葉に触れる。 ・言葉にはどのような力があるのかを読み取り、言葉について考えを深める。 ・さまざまな表現技法について理解する。 ・読書に親しみ、読書生活を豊かにする。 ・時代や状況の中で自分を見つめ、生き方を深めていくことの大切さを考える。作品に描かれた、作者の思いをとらえる。 ・情景を想像しながら作品を読む。登場人物の気持ちや場面の展開に注意して作品を読み取る。 ・漢字の音読みと訓読みについて理解する。 ・方言と共通語について理解する。 ・言葉の単位（文章・段落・文・文節・単語）について理解する。 ・文節どうしの関係(主・述, 修飾, 被修飾, 接続, 独立), 連文節, 文の組み立てを学ぶ。 ・伝える目的や相手を明確にして情報を集める。説明する観点を決めて情報を整理し, わかりやすい構成を考えて説明する。 ・相手の話を正確に聞き取る。聞き手に分かりやすいスピーチをとおして話し合いを深める。 ・筆者の意見とそれを支える根拠との関係を理解する。 ・資料を引用してレポートを書く。
	5	<ul style="list-style-type: none"> (・書き留める[学習の記録]・調べる[辞書・インターネット]) ・シンシユン 	
	6	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字1 漢字の組み立てと部首 ・漢字に親しもう1 ・ダイコンは大きな根? ・ちょっと立ち止まって 	
	7	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字に親しもう2 ・話の構成を工夫しよう ・情報社会を生きる ・詩の世界 ・比喩で広がる言葉の世界 言葉を集めよう ・言葉3 さまざまな表現技法 ・読書を楽しむ 	
	8	<ul style="list-style-type: none"> ・大人になれなかった弟たちに・・・ ・星の花が降るころに 	
	9	<ul style="list-style-type: none"> ・漢字2 漢字の音訓 ・言葉2 方言と共通語 ・言葉のまとまりを考えよう(文法①) ・言葉の関係を考えよう(文法②) ・根拠を示して説明しよう ・話題や展開を捉えて話し合おう。 	
	10	<ul style="list-style-type: none"> ・「言葉」をもつ鳥, シジュウカラ 	

二 学 期	10	・言葉1 指示する語句と接続する語句	・指示語, 接続語の用法を理解する。
	11	・大阿蘇 ・いろは歌 ・蓬萊の玉の枝「竹取物語」から	・音読を楽しむ ・音読を楽しみ, 古文の言葉や響きに慣れる。さまざまな古典作品が読み継がれてきたことを知る。 ・古典の作品を読み, その世界に触れる。仮名遣いに注意し, リズムを味わって音読する。
	12	・今に生きる言葉「矛盾」 ・書写(書きぞめ) ・「不便」の価値を見つめ直す	・中国の古典に由来する言葉が, 今も使われていることを知る。漢文特有の言い方に慣れる。 ・行書の特徴をとらえ, 筆脈・筆遣いを学ぶ。 ・必要な情報を取り出し, 結び付けて要約する。 ・筆者の主張を要約し, それに対する自分の考えをもつ。
	1	・考える人になろう ・少年の日の思い出 ・助言を自分の文章に生かそう	・本や文章に親しみ, 必要に応じて紹介する。 ・登場人物の物の見方や考え方を読み取り自分の考えを持つ。場面展開や人物描写に注意し登場人物の心の移り変わりとらえる。 ・書評を書き, 交流することを通して, 自分の考えや読書の幅を広げる。
	2	・随筆二編	・文章の要旨を捉えて理解する。筆者の考えを基に自分の考えを深める。
	3	・構成や描写を工夫して書こう ・単語の性質を見つけよう(文法③) ・漢字3 漢字の成り立ち ・一年間の学びを振り返ろう	・自分なりの観点から, 表現を工夫しながら書き表す。 ・単語の分類(自立語・付属語, 活用の有無), 品詞, 体言と用言について学ぶ。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・学んだことの中から題材を選び, 発表内容の構成を工夫し, 聞き手の反応に注意しながら話す。 ・伝える事柄・目的・相手に応じて内容を整理し, 分かりやすく伝えるための工夫をする。
	通 年	漢字の学習 タブレットドリル	・新出漢字を練習し, 意味・使い方を覚える。漢字の音・訓を学ぶ。 漢字の成り立ちを学ぶ。

【評価の観点と趣旨, 場面】

観点	知識・技能 (言葉, 情報, 言語文化)	思考・判断・表現 (話す・聞く, 書く, 読む)	主体的に取り組む態度
趣旨	社会生活に必要な国語について, その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」, 「書くこと」, 「読むこと」の各領域において, 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め, 自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり, 思いや考えを深めたりしながら, 言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに, 言語感覚を豊かにし, 言葉を適切に使おうとしている。
場面	授業中の様子, 定期考査, 小テスト, 漢字テスト, navima(デジタルドリル), 課題, 発言・発表, 書写	授業中の様子, 発言・発表, 聞き取りテスト, スピーチや話し合い, 定期考査, 課題, ジャーナル	授業中の様子, ジャーナル, 課題, 発言・発表

社会科(1年)

【1年間の学習の流れ】

学期	月		単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	地理	第1部世界と日本の地域構成 第1章世界の姿 第2章日本の姿	1. (1)大陸と大洋の分布, 主な国々の名称と位置, 世界の多様な文化や人々の生活を理解する。 (2)世界における日本の位置や, 日本の領域・領土についての経緯や課題を多面的・多角的に考える。
	5		第2部世界のさまざまな地域 第1章人々の生活と環境	
	6	歴史	第1部歴史のとらえ方と調べ方 第1節歴史の流れと時代区分 第2節歴史の調べ方・まとめ方	1. 歴史学習への関心を高め, 時代区分を覚え, 年表の見方を身に付ける。 2. 世界各地の人々が築いた諸文明や国家の起こりと発展の特色について理解する。 大陸とのつながりがもたらした変化と律令国家の成立過程を理解する。 天皇と貴族による政治の構造を理解し, 日本独自の文化が生まれた理由を考える。
	7		第2部歴史の大きな流れと時代の移り変わり	
	8		第1章古代国家の成立と東アジア	
	9			
9	地理	第2部世界のさまざまな地域 第2章①アジア州	①アジア州の急速な経済発展の理由と, 日本との関係について考える。 ②ヨーロッパ州の国をこえた結びつきの必要性和課題について考える。 ③アフリカ州の植民地支配の歴史が, 文化や経済に及ぼしている影響について考える。	
10		②ヨーロッパ州 ③アフリカ州		
二学期	10	歴史	第2章武家政権の成長と東アジア 第1節武士の世の始まり	3 (1)主従の結びつきや武力によって, 武士による政治が成立したことを理解する。 (2)元寇や日明貿易などを通して, 東アジア世界の関わりが日本に与えた影響を考える。 (3)産業の発達による生活の向上と, 人々に芽生えた自治意識による社会の変化をとらえる。
	11		第2節武家政権の内と外 第3節人々の結びつきが強まる社会	
	12		第3章武家政権の展開と世界の動き 第1節大航海によって結びつく世界 第2節戦乱から全国統一へ	
	1	地理	第2部世界のさまざまな地域 第2章④北アメリカ州	④世界に影響を与える北アメリカ州の産業と文化の形成過程について考える。 ⑤南アメリカ州の開発と環境問題の関連を知り, 開発によって生まれる課題について考える。 ⑥オセアニア州の多文化社会の形成とアジア州とのつながりの関連について考える。
	2		⑤南アメリカ州 ⑥オセアニア州	
3	地理	第3部日本のさまざまな地域 第1章身近な地域の調査	3 ①身近な地域を調査するための計画立てや調査手法, まとめ方について理解する。 ②地形図の使い方を, 実際に地形図を読みながら理解を深める。	

【評価の観点と趣旨，場面】

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切に処理・活用している。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に，課題を主体的に継続的に解決しようとしている。
場面	定期考査 課題の取組内容 朝学習	定期考査 課題の取組内容 レポートの作成，発表	授業態度 振り返りシートの記述内容 課題の提出状況 ノートの書き取り

数学（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	0章 算数から数学へ 1節 整数の性質	・自然数を素数の積に分解する。
	5	1章 正負の数 1節 正負の数 2節 加法と減法 3節 乗法と除法	・+, -の符号や正の数, 負の数の意味を知る。 ・正負の数の加法, 減法, 乗法, 除法を計算する。 ・正負の数の計算を利用して, 身近な問いを解決する。
	6	4節 正負の数の利用 2章 文字と式 1節 文字を使った式	・簡単な場合について, 数量を文字を使って表す。 ・代入と式の値の意味を知る。
	7	2節 文字式の計算 3節 文字式の利用	・一次式のいろいろな計算をする。 ・数量の間の関係を等式や不等式で表す。
二学期	9	3章 方程式 1節 方程式とその解き方 2節 1次方程式の利用	・方程式とその解, 方程式を解くことの意味を知る。 ・移項の考えを使って方程式を解く。 ・一般的な方程式の解き方の手順を確認する。 ・比例式の意味とその性質を理解する。
	10	4章 比例と反比例 1節 関数と比例・反比例	・変数, 関数の意味を知る。 ・グラフをかき, 特徴を調べる。
	11	2節 比例の性質と調べ方 3節 反比例の性質と調べ方 4節 比例と反比例の利用	・比例や反比例の考え方, グラフを利用して, 具体的な場面の問題を解決する。
	12	5章 平面図形 1節 図形の移動 2節 基本の作図 3節 おうぎ形	・平行移動, 対称移動, 回転移動について知る。 ・円やおうぎ形の意味と特徴を知る。 ・作図における定規やコンパスの使い方を知る。 ・具体的な問題を, 作図を利用して解決する。
	1	6章 空間図形 1節 いろいろな立体 2節 立体の見方と調べ方 3節 立体の体積と表面積	・様々な立体の特徴を知る。 ・空間における直線や平面の位置関係について理解し, それらについて調べたり, 表したりする。 ・立体の表面積, 体積を求める。
	2	7章 データの分析と活用 1節 データの整理と分析	・資料を度数分布表やヒストグラムに整理し, 分布の様子や特徴を読み取る。
	3	2節 データの活用 3節 ことがらの起こりやすさ	・階級値, 相対度数, 累積度数等の意味を知る。 ・多数回の実験や観察の結果から確率を考える。

【評価の観点と趣旨, 場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり, 数学的に解釈したり, 数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力, 数量や図形などの性質を見だし統一的・発展的に考察する力, 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え, 数学を生活や学習に生かそうとしたり, 問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしたりしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・朝学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・話し合い活動 ・朝学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・提出物 ・振り返りカード ・授業中の発言

理科 (1年)

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類のしかた 2章 植物の分類	<ul style="list-style-type: none"> ルーペや顕微鏡などの使い方を身に付け、微生物などの観察をする。 花のつくりとはたらきを理解する。 植物を増え方やからだの特徴をとらえ、分類の方法を理解する。 観察・実験を通して、動物のからだのつくりとはたらきを理解し、動物が分類を考える。 金属と非金属の違いについて実験を通して理解する。密度の計算、ガスバーナーの使い方を身に付ける。プラスチックの特徴を理解する。 気体の発生方法や特徴について実験を通して理解する。 水溶液の特徴や溶解度について実験を通して理解する。 状態変化の特徴を理解し、蒸留の実験を通して融点や沸点の違いを利用した方法を理解する。
	5	3章 動物の分類	
	6	単元2 身の回りの物質 1章 身のまわりの物質とその性質	
	7	2章 気体の性質	
	7	3章 水溶液の性質	
	9	4章 物質の姿と状態変化	
	二学期	10	
11		2章 音の世界	
12		3章 力の世界	
1		単元4 大地の変化 1章 火をふく大地	
2		2章 動き続ける大地	
2			
3		3章 地層から読みとる大地の変化	

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象についての基本的な原理や法則などを理解している。 観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析、解釈、表現するなど科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実験、観察レポート 小テスト パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> 定期考査 実験、観察レポート 小テスト 発表や話し合い活動 	<ul style="list-style-type: none"> 学習活動への取組 実験・観察レポートの作成 授業の振り返り 授業中の発言内容 課題への取組 朝学習への取組

英語科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	Unit0 Welcome to Junior High School 学び方コーナー①辞書の使い方 Unit1 New School , New Friends	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの英語, あいさつ ・ b e 動詞（1） ・自己紹介する
	5	Unit2 Our New Teacher Grammar for Communication 1 学び方コーナー②英語の音とつづり Unit3 Club Activities	<ul style="list-style-type: none"> ・ b e 動詞（2）一般動詞, can ・友達を紹介する ・疑問詞 Who, What,
	6	Grammar for Communication 2 Unit4 Friends in new Zealand Grammar for Communication 3	<ul style="list-style-type: none"> ・希望は夢を伝える ・疑問詞 When, Where, How ・時刻をたずねる What time
	7	Unit5 A Japanese Summer Festival Stage Activity 1	<ul style="list-style-type: none"> ・命令文 ・好きなこと, 体験したことを話し合う
	9	Unit6 A Speech about My Brother Let' s Talk 1 許可する, 依頼する言い方 学び方コーナー③英和辞典の使い方 Grammar for Communication 4	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形, 前置詞 ・身近な人について紹介する ・一般動詞（2）三人称単数現在形
	10	Unit7 Foreign Artists in Japan Let' s Talk 2 Let' s Listen1 Grammar for Communication 5	<ul style="list-style-type: none"> ・人や物についての情報を聞く ・体調をたずねる ・疑問詞 Whose , Which, Where, Whose ・代名詞とその活用形
	11	Unit8 A Surprise Party Let' s Write 1 学び方コーナー④子音の文字と音 Grammar for Communication 6	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の状況を伝える ・現在進行形, 感嘆文 ・グリーティングカードを書く ・したいことやする必要のあることを伝える
二学期		Unit9 Think Globally, Act Locally Let' s Talk 3	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞(名詞的用法) l o o k + 形容詞 ・徒歩で道順をたずねる
	12	Let' s Listen2 Stage Activity 2 Let' s Read 1	<ul style="list-style-type: none"> ・冬休みの思い出を文にまとめる
	1	Unit10 Winter Vacation Let' s Write 2 Unit11 This Year' s Memories	<ul style="list-style-type: none"> ・過去形 規則動詞, 不規則動詞 ・旅先から絵はがきを書く ・1年の思い出について既習事項を使って表現する
	2	Let' s Talk 4 Let' s Listen 3 Grammar for Communication 7	<ul style="list-style-type: none"> ・ b e 動詞の過去形 ・レストランで注文する
	3	Stage Activity 3 Let' s Read 2	

【評価の観点と趣旨，場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の語彙や文法などの知識と，それらをコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	実際のコミュニケーション場面において，英語で情報や考えを理解し，話したり書いたりして表現できる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め，主体的に英語を用いて学習課題に取り組もうとしている。
場面	授業中の学習活動，定期考査，単元テストなど	授業中の学習活動，定期考査，単元テスト，スピーキングテストなど	授業中の学習活動，ペアやグループでの活動，課題への取組状況など

音 楽 科 (1 年)

【 1 年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一 学 期	4	『合唱の喜び』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌う姿勢や発声について理解する。 ・ 言葉の意味や詩の内容を理解し、正確な音程で歌えるようにする。 ・ 情景を思い浮かべながら、それにふさわしい歌い方を工夫する。 ・ 作曲者やその作品について理解する。 ・ 詩と音楽が一体となった表現を感じ取る。 ・ 曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。
	5	・ 校歌・主人は冷たい土の中に	
	6	・ 合唱曲	
	7		
	8	・ 浜辺の歌	
	9	『鑑賞 イメージをふくらませて聴こう』	
	10	・ 魔王・映画音楽『エーデルワイス』	
二 学 期	10	・ 赤とんぼ	<ul style="list-style-type: none"> ・ アルトリコーダーの基本的な奏法や運指を確認する。 ・ 言葉の意味や詩の内容を理解し、正確な音程で歌えるようにする。 ・ 日本語の持つリズムや抑揚と旋律との関わりを感じ取る。 ・ 伴奏の変化による旋律の雰囲気の違いを感じ取り、詩の内容を味わいながら歌唱する。 ・ 楽曲の概要や作曲者について理解する。 ・ ソネットから情景をイメージし、弦楽合奏の美しさを感じ取る。
	11		
	12	『日本の曲に親しもう』（「六段の調べ」）	
	1	箏	
	2	『アジアの諸民族の音楽』	
	3	『合唱 旋律の重なりを感じ歌おう』（「Let's search for Tomorrow」, 3年生を送る会の曲他）	
		『鑑賞 イメージをふくらませて聴こう』 ・ 春	

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	・ 音楽の構造や音楽の多様性について理解したり、音楽表現したりするための技能を身に付けている。	・ 音楽をどのように表すかについて思いや意図を持ち、よさや美しさを味わって聴いたり表現したりしている。	・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
場面	・ 授業中の学習活動 ・ 確認テスト ・ 実技テスト	・ 授業中の学習活動 ・ 課題への発想や記述 ・ 実技テスト	・ 授業中の学習活動 ・ グループでの活動 ・ 課題への取組状況など

美術科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	オリエンテーション『美術について』 『レタリング』	<ul style="list-style-type: none"> ・美術とは何か，生活にどのように関連しているかをわかりやすく説明する。 ・明朝体，ゴシック体の練習。自分の名前をレタリングする。 ・主にアクリル絵の具の使い方をミニ作品の制作を通して学ぶ。 ・ポスターのデザインを通して，デザインの基礎を学び，アクリル絵の具による表現の実践を深める。
	5	『表現の基礎』（色彩理論，えのぐ）	
	6	『デザイン：ポスターを描こう』	
	7		
	8	『鑑賞：私が見つけた物語』	
二学期	9		<ul style="list-style-type: none"> ・鑑賞会
	10	『絵画：鉛筆で描く』	
	11		
	12	『彫刻：身近なものを立体で表そう』	
	1		
2		<ul style="list-style-type: none"> ・対象をよく見てスケッチするなどして，主題を生み出す。 ・対象物の質感に応じた素材を選択し，量感などが表れるように立体的に表現する。 ・鑑賞会 	
3	『印象派に学ぼう』		

【評価の観点と趣旨，場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し，創造的に表している。	造形的なよさや美しさ，表現の工夫，美術の働きなどについて考えるとともに，主題を生み出し，豊かに発想し構想を練ったり，美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・プリント ・作品 ・鑑賞ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取り組み ・制作カード ・準備物（モチーフを選ぶ，資料を集める）

保健体育科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	体づくり運動・集団行動 新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動や体力を高める運動 ・集団行動の行い方を学び、効率的に行動できるようになる。
	5	陸上競技（短距離走・リレー）	<ul style="list-style-type: none"> ・目標タイム設定を行い、記録向上に取り組む。
	6	器械運動（マット・跳び箱）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技を滑らかに行うことができるようにする。跳び箱運動では、条件を変えた技や発展技ができるようにする。
	7	保健分野・水泳（クロール）	
	8		
	9	運動会練習	<ul style="list-style-type: none"> ・手と足の動き、呼吸のバランスを取り泳ぐことができる。
	10	運動会練習	<p>【保健】健康な生活と疾病の予防① 心身の機能の発達と心の健康</p>
二学期	11	バレー	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なパスやサービスを使って簡易的なゲームで勝敗を競うことができるようにする。
	12	柔道・ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・基本となる技を用いて投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開できるようにする。
	1	保健分野・体育理論	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。
	2	サッカー・バスケ	<p>【体育理論】運動やスポーツの多様性</p>
	3	卓球・バドミントン	<p>【保健】心身の機能の発達と心の健康</p>
			<ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作と空間に走り込むなどの動きによって、ゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・空いた場所をめぐる攻防をすることができる。

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践に関わる具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 ・個人生活における健康・安全について理解をし、基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、それらを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を見つけ、その解決を目指して思考し判断、工夫し、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に自主的に取り組もうとしている。 ・健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に自主的に取り組もうとしている。
場面	技能テスト・試験・観察	学習プリント・発言・観察	出席・授業態度・観察

技術科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	【ガイダンス】	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の役割や、見方・考え方 ・技術と生活産業，技術とエネルギー・環境，受け継がれ発展する技術
	5	【材料と加工の技術】 1. 生活や社会と材料と加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を刺させる材料と加工の技術 ・身の回りにある材料と加工の技術 ・材料と加工の技術（木材，金属，プラスチック）
	6	2. 材料を利用するための技術	<ul style="list-style-type: none"> ・構造をじょうぶにする技術
	7		<ul style="list-style-type: none"> ・作図
	8	3. 問題解決の手順	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と課題解決の設定 ・設計
9			
二学期	10	4. 製作のための技能・実習	<ul style="list-style-type: none"> ・材料取りと部品加工
	11		<ul style="list-style-type: none"> ・組立てと仕上げ
	12	5. これからの材料と加工の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の振り返り
	1	【生物育成に関する技術】 1. 生活や社会と生物育成の技術	<ul style="list-style-type: none"> ・生活や社会を支える生物育成の技術 ・身の回りにある生物育成の技術 ・作物，動物，水産生物，森林の育成技術
	2	2. さまざまな生物育成の技術	
3			

【評価の観点と趣旨，場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活と技術について理解しているとともに，それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から課題を見付け，課題を解決する力を身に付けている。	課題解決に主体的に取り組んだり，振り返ったりして，生活を工夫し想像し，実現しようとしている。
場面	・作品，ワークシート，作業の様子 ・定期テスト など	・レポート，ワークシート ・計画表 ・テスト など	・授業中の様子 ・準備物，提出物，ワークシート，まとめレポート ・テスト など

家庭科（1年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	「ガイダンス」 ・小学校家庭科の振り返る ・自立と共生	・小学校の学習を振り返り、家庭分野の学習について知る。 ・自分の成長と家族や地域の人びとのかかわりの理解を深める。
	5	「自分の成長と家族・家庭生活」 ・今の自分とこれまで ・わたしの生活と家族・家庭と社会	・家庭生活と社会とのかかわりについて理解する。
	6	・中学生にとっての家族 「食事の役割と食習慣」	・家族関係をよりよくする方法を考える。 ・食事の役割を理解し、毎日の食事について関心を高める。
	7	・食事の役割、健康によい食習慣 「中学生に必要な栄養を満たす食事」	・中学生に必要な栄養の特徴がわかる。
	8	・中学生の発達と必要な栄養	・食品に含まれる栄養素と、食品成分表の見方を理解する。
	9	・栄養素のはたらきと6つの基礎食品群	
	10	「さまざまな食品とその選択」 ・生鮮食品の選択と保存 ・加工食品の選択 「日常食の調理」 ・調理の計画	・生鮮食品の特徴と保存方法を知る。 ・加工食品の特徴と表示内容を知る。 ・効率的な調理の流れ・手順、軽量の仕方、調理熱源の扱い方について知る。
	11	・肉・魚・野菜の調理	・調理上の性質を理解し、技術を習得する。
二学期	12	・1日の献立	・中学生に合う1日分の献立を考える。
	1	・地域の食文化	・郷土料理の良さを知り、技術を習得する。
	2	・郷土料理の調理	・食品の安全や情報について関心を高める。
	3	・食品の安全と情報 ・持続可能な食生活	・持続可能な食生活を送るために食生活を工夫することができる。 ・1年生の学習を振り返る。

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実現しようとしている。
場面	授業中の学習活動、定期考査、作業の過程、課題の仕上がりなど	授業中の学習活動、定期考査、作業の過程、課題の発表など	授業中の学習活動、話し合い活動、課題や作業への取組状況など